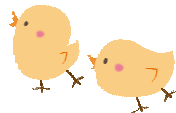


あたらしくはい入ほんった本



【一般】

『歌舞伎町ゲノム』 (菅田 哲也／中央公論新社)

法では裁けない非道、そして現代の卑しき心の病魔を始末する。それが、伝説の歌舞伎町セブン。新メンバーが加入した彼らの元に舞い込む依頼とは？ <ジウ>サーガシリーズ。

『ふたたび嗤う淑女』 (中山 七里／実業之日本社)

蒲生美智留による凶悪事件から3年。国会議員の資金団体が事務局長を務める藤沢優美は、野々宮恭子と名乗る投資アドバイザーの指南で資金の不正運用に手を染め…。『嗤う淑女』続編。

『残りものには、過去がある』 (中江 有里／新潮社)

格差婚夫婦、招かれた客、招かれなかった人…。皆が、人には言えない秘密を抱えていた。そして、新郎新婦の結婚に隠された「真実」とは…。披露宴を巡る6つの物語。

『一切なりゆき』 (樹木 希林／文藝春秋)

名女優が語り尽くした生と死、演技、男と女。さまざまな雑誌に掲載された樹木希林の言葉をまとめる。ユーモアと洞察に満ちた希林流生き方のエッセンスが満載。樹木希林年譜、内田也哉子による喪主代理の挨拶も収録。

<その他新刊>

- ◆ 『指揮権発動』 笹本 稜平 KADOKAWA
- ◇ 『大江戸闇魔帳』 藤井 邦夫 講談社
- ◆ 『ミス・マーブルと13の謎』 アガサ・クリスティ 東京創元社
- ◇ 『天皇<125代>の歴史』 山本 博文 西東社
- ◆ 『百まで生きる覚悟』 春日 キスヨ 光文社
- ◇ 『受験と進学の新常識』 おおた としまさ 新潮社
- ◆ 『みんなのストレッチ』 フィジカルトレーナー協会 講談社

【児童】



『さるのてぶくろ』 (野村 たかあき／鈴木出版)

落ちていた赤い小さなてぶくろを、近くのおじぞうさまの手にはめた女の子。それを木の上から見ていたこざるは、てぶくろが欲しくなり、女の子が去った後、自分の手にはめました。すると、それからこざるは木に登れなくなり…。

『俳句ガール』 (堀 直子／小峰書店)

小学4年生のつむぎは、おばあちゃんが通うケアハウスで俳句にであう。ある日の放課後、だれもない教室の黒板に俳句を書き残すと、次の日…。俳句のたのしさを知った少女のハッピーな成長ものがたり。

『昨日のぼくのパーツ』 (吉野 万理子／講談社)

小学6年生の大志は、「昨日のパーツ」=ウンコやおしっこ、について真正面から考える、「昨日のぼくのパーツ研究会」を友だちと立ち上げて…。トイレの悩みをかかえる、すべての人を助ける物語。

<そのほかの新しい本>

- ★ 『おばけのアッチ スパゲッティ・ノックダウン!』 角野 栄子 ポプラ社
- ★ 『世界一クラブ ⑤』 大空 なつき KADOKAWA

【私のイチオシ!】

『大人になってもこまらない! マナーとしぐさ』 (井垣 利英／ポプラ社)

はずかしがりやの主人公・ヒカリが、憧れのお姉さん・モエと一緒にマナーとしぐさのレッスンを始めます。まずは自分のすてきなポイントを見つけて、ふるまいや気持ちの伝え方を学びましょう。毎日をハッピーに過ごすためのアドバイスがたくさん載っています。小学生・中学生におすすめです。